



# タンポポ魂

発行日 2020年(令和2年)12月23日

培遠中学校 校長 村上 啓二

www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu - baien/

○授業が楽しい ○当たり前のことができる ○地域に貢献する ○自分で決める

## 3年生ありがとう!!

3年生ありがとう。令和2年が終わろうとしています。6月からの学校再開、短い夏休みで8月24日からの長い2学期でした。今まで私たちが経験をしたことがない環境の中で、培遠中学校が機能したのは、3年生の力だと思っています。

先日、学年集会の様子も素晴らしかったです。よい緊張感の中での集会でした。先生がさせようとするのではなく、生徒自ら一人一人が集中する姿があり、その雰囲気は爽やかでした。入試に向けた決意の集会でしたが、3年間の成長を感じました。

校内のあちこちで、3年生と先生が、リラックスして、大人の会話を楽しんでいる様子を見て、ほっとします。



学年集会 (12/17)

### ◎駅伝マラソン大会 (12/19)

コロナ禍のステージ2の中でしたが、駅伝大会を終えました。不安の中で参加した人、欠席した人に対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。開催できたのは、保護者の皆様のご支援や役員の方々の当日の沿道での見守りがあってのことです。いつものPTA 手作り豚汁の代わりに配布された豚汁のパッケージには、丁寧に励ましの手書きメッセージをいただきました。ありがとうございました。



### ◎培遠中学校が目指すもの

「2030年はAIが…」 「Society5.0の時代が…」と、言われているが、…

「今、きちんと**意思決定**ができる」

「今、きちんと**探究学習** (問題解決学習) ができる」

その人は、その時がきても、しっかり物事を自分で決めることができ、しっかり物事を自分で考えて解決することができる。

私たちが忘れてはならないのが、**タンポポ魂**。

踏ん張るその根強さ  
太陽に向かって咲くその明るさ  
幸せをまき散らすこと

→ **自分ができる**と  
**自分の力を信じる**

### 福山の培遠中生 JT Bインターン

## 修学旅行先の魅力プレゼン

### 事前学習や取材 観光パンフ作製



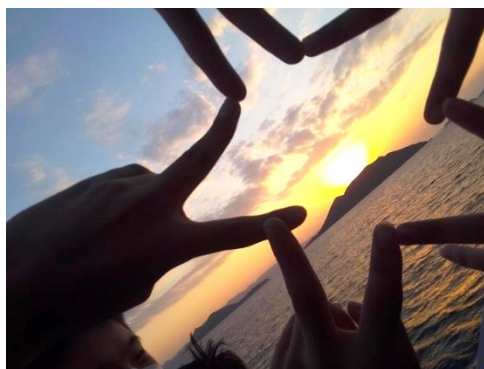
作成した旅行パンフレットを発表する生徒

福山市春日町の培遠中  
が、職場体験を兼ねた修学  
旅行を実施した。生徒が旅  
行大手のJT Bのインター  
ン生になり、修学旅行で訪  
れた観光地をリサーチ。見  
どころなどを載せたパンフ  
レットを作製した。  
2年生約160人が10

月、高松市や高知市を2泊3日で訪問。5人程度の班に分かれ、それぞれ市内を取材した。うち8班が今月中旬、仕上げたパンフレットをJT B福山支店の社員や教諭に向けて発表した。高松市の男木島を紹介した班は、島で有名な猫や芸術作品について事前に学習。猫が多く集まる場所を紹介してくれる地元飲食店などを現地取材し、写真付きで解説した。高知市の喫茶店を紹介した班は、各店舗のお薦めのスイーツの写真を載せ、「食欲をそそる暖色系で統一した」と工夫を解説した。

発表を聞いた同支店営業課の井上吉郎さん(右)は

中国新聞  
2020年12月18日(金)



「感想で終わらず、観光地の特徴や魅力を伝えていく。観光案内所にも置きたい」と評価した。同校が、学習が短期間で終わりがちな職場体験と修学旅行を併せることで、生

徒が時間をかけて主体的に取り組めるよう企画した。小西梨央さん(右)は「自分たちで行きたい観光地が決められ、想像以上に楽しい旅行になった」と話した。(湯浅梨奈)

# 培遠中学校が目指すもの

## 4つの学びのスタイル

レベル	授業の型	生徒が獲得する力	文部科学省が言う類型
1	先生主導の授業, 実習の授業	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
2	<b>課題</b> 解決学習 学習 <b>課題</b> は先生が示す 追究方法も先生が指導	知識・技能の 基本的活用モデル	活用型
3	<b>課題</b> 解決学習 学習 <b>課題</b> は先生が示す 追究方法は生徒が考える	問題解決能力	
4	<b>問題</b> 解決学習 学習 <b>問題</b> は生徒が発見 追究方法も生徒が考える	<b>問題発見能力</b> 問題解決能力	探究型 (最終型)

主体的・対話的で  
深い学び

培遠中学校の取組が神奈川新聞へ紹介されました



原簿被害について培遠中学校の生徒の説明を聞く中野中学校の生徒ら  
相模原市緑区

### 神奈川新聞

2020年(令和2年)9月9日 水曜日

#### 修学旅行中止の 相模原・中野中

# 祈りの千羽鶴 広島へ

広島への修学旅行が新型コロナウイルスの影響で中止になった後、相模原市立中野中学校(同市緑区中野)の3年生が制作を進めてきた千羽鶴が8日、広島県福山市立培遠中学校の生徒によって、広島市の平和記念公園に送られた。その様子は培遠中の生徒によって中野中に動画で生中継され、両校の生徒が核兵器のない世界を願って一緒に黙とうした。(佐野 克之)

中野中の生徒は昨年12月、自分たちでできることから、修学旅行に向けて広島とを。修学旅行実行委員の生徒が中心になり、原簿で亡くなった人を慰霊するための千羽鶴を折ってきた。教員同士でつながりのあった培遠中に依頼し、校外学習として平和記念公園を訪れる1年生に千羽鶴を託した。

平和  
つなぐ  
戦後75年

#### 現地中学生に託し供える

「広島への修学旅行が新型コロナウイルスの影響で中止になった後、相模原市立中野中学校(同市緑区中野)の3年生が制作を進めてきた千羽鶴が8日、広島県福山市立培遠中学校の生徒によって、広島市の平和記念公園に送られた。その様子は培遠中の生徒によって中野中に動画で生中継され、両校の生徒が核兵器のない世界を願って一緒に黙とうした。」

「広島市の被爆を神奈川の生徒に伝えることで、私たちの学びが深まった。協力できてよかった」と培遠中の村上啓二校長。中野中の修学旅行実行委員長の武田歩己さん(14)は「修学旅行に行けなかったことは残念だが、忘れられない貴重な経験ができた。培遠中の方々に心から感謝したい」と話していた。